

東区故事



豊町

ゆたかちよう

昭和30年に笠井町の大字だった倉中瀬・石原・中善地・羽鳥の4つが合体して、豊町となった比較的新しい町です。4つの大字は笠井町以前は、豊西町の一部であり、江戸時代には豊田郡に属す独立した村でした。町名は、豊西町の豊の字を取り、かつ「ゆたかな実りの秋を平穏に迎えられる土地であれ」と祈念して名付けられました。町内には、およそ1400年前に築かれたといわれる蛭子森古墳があり、ヤマトタケルの墓だとする説や、その家臣またはこの地域の豪族の墓だといふ説などがあります。

龍光町

りゆうこうちよう

龍光という地名は、かつてこの村に龍光寺という曹洞宗のお寺があり、そのお寺の名前が地名になったという説があります。『遠州風土記』にも龍光寺の記載があり、南区飯田町にある龍泉寺の末寺であったことは読み取れますが、いつ廃寺となったかは明らかになっていません。ほかにも「龍神様の目の光によつて天竜川の大洪水が起ころ」という伝説があり、龍神様の目の光から、龍光と名付けられたといふ説もあります。

参考文献

- ・神谷昌志『はままつ町名の由来』（静岡出版社）
 - ・加藤鎮毅『あの町この町 遠州地名町名物語・浜松・浜北篇』（ひくまの出版）
- ※紹介している由来は一例で、この他の説もあります。

東区協議会だより

Vol. 68

12月20日(木)、第10回東区協議会が出席委員20人で開催されました。

協議事項について

地域力向上事業について

東区区振興課から、区企画事業2件について説明がありました。

○東区防災対策アクションプラン

〈概要〉

非常持出用品や家具の転倒防止用具などの災害時に役立つ用品を、東区役所内の「防災広報ブース」に展示する。また街頭で防災・減災に関わる啓発イベントを実施し、各家庭でできる身近な防災対策を周知する。

○浜松市東区観光PR冊子「東の細道」作成事業

〈概要〉

浜松城や家康公ゆかりの地、東海道、姫街道などを日本を代表する若手俳人が訪れ、俳句を詠んで「俳人の視点」から東区を紹介する観光PR冊子「東の細道」を作成・発行する。

〈委員からの質問〉

Q 「東の細道」作成事業について、資料に若手俳人とあるが、東区にゆかりのある人なのか。

A 東区俳句の里づくり事業で尽力いただいている俳人を中心とした構成で、中央俳壇で著名な人である。

報告事項について

浜松城公園長期整備構想について

緑政課から説明がありました。

〈委員からの質問〉

Q 長期整備構想に変わった際の文化施設関連予算は、どうするのか。

A 今後、各所管課が今回の構想を考慮して、新規設置や改編などの事業計画が実現できる段階に達したら、必要な予算額で執行する事になる。

Q 市民と共に成長する公園とあるが、どのように市民が関わるのか。

A 計画段階でワークショップを開き、市民の意見を聴く。また公園完成後には、先進都市で行われている「市民が公園の運営に関わる」という考え方なども取り入れたい。

Q 小学校の統合と公園整備のスケジュールが合わないが、どう理解すれば良いのか。

A 今は市民から意見を聴取している段階であるので、詳細なスケジュールについては今後検討する。

